

インフラ運営の透明化に向けた ICT・AIを活用した市民協働システム

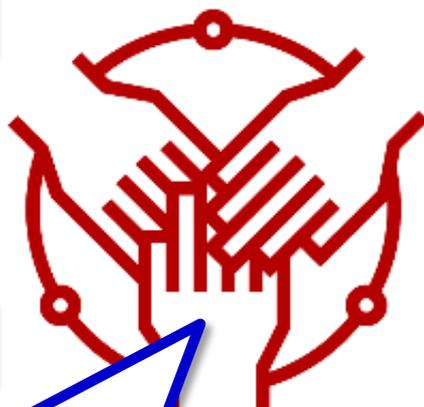
4.9億円程度
(事業期間3年間)

道路、公園、公共施設など、都政に関わる様々なインフラ運営事業に対して、その透明性を確保し、都民に積極的に関わってもらえるよう、市民協働の観点を組込んだ、ICT・AIを最大限活用したインフラ運営に向けた新しい情報基盤の構築。

道路の点検業務の効率化



公共工事データの迅速なオープン化



市民協働の観点を組込んだ
インフラ運営の透明化

スマートフォンによる市民投稿・参加



事業内容の詳細

- **インフラ不具合等に関する、スマートフォンによる市民投稿・市民参加を受付開始**
 - ・ 具体的には、インフラ管理者からの回答により双方向コミュニケーションを促進し、市民協働の意識を高めるために、都と都下2/3以上の市区町村への投稿管理ダッシュボード導入のための経費と、取組の普及・広報のための経費等を支援。
- **インフラ管理者の日常点検や公共工事に関する、作業効率化と迅速な情報公開を開始**
 - ・ 具体的には、都と都下2/3以上の市区町村への、スマートフォン画像とAIを活用した日常点検業務の効率化を支援するダッシュボード導入の経費と、工事完成時の成果に関する受注者によるオンライン電子納品システム導入の経費等を支援。

事業実施による効果

- インフラに関わる予算は巨額（年間8,800億円）かつ専門性も高いため、硬直化しやすく、市民協働によりオープンな方向に進むメリットは計り知れない。